



・2,583人 (-9人)
・1,681世帯(±0世帯)
平成29年1月1日現在
※カッコ内は前月1日比

東京2020オリンピック・パラリンピック スポーツライミング競技事前キャンプ誘致

櫻田村長ら都に要望書提出



塩見局長に要望書を渡す櫻田村長、
広瀬町町会副会長、谷議長

櫻田昭正村長、谷寿文議長、広瀬久雄東京都町会副会長(御蔵島村長)は、1月16日(月)東京都オリンピック・パラリンピック準備局を訪問し、小池百合子東京都知事宛ての「東京2020オリンピック・パラリンピック大会におけるスポーツライミング競技事前キャンプ誘致に関する要望書」を塩見清一局長に提出しました。
三宅村レクリエーションセンターについて、公営として国内最大級の施設であること、自然に囲まれ集中してトレーニングすることができる環境の優位性を強調し、誘致に向けて協力を要請しました。
また、島嶼地区での事前キャンプの実現により島嶼地区を含む東京都全体の気運醸成につなげていきたいとして支援を要望しました。
塩見局長からは、「東京都としても協力していきたい」と考えている」というお言葉をいただきました。



大人の仲間入りした新成人

式典では、ピアノ伴奏による国歌斉唱のあと、島村幸明教育長が式辞で「新成人の皆さん一人ひとりが三宅村の大切な宝です。皆さんが持っているその若い力で、困難に立ち向かって、美しい未来を担って行くことを期待します。」と激励し、続いて櫻田昭正村長、谷寿文議長、渡邊俊夫支庁長ら来賓の方々がお祝いの言葉を贈りました。
新成人あいさつでは、新成人代表の山田慧さんが、「私たちはこの自然豊かな三宅島で暮らし、2000年の噴火からの復興とともに成長してきました。この三宅島への想いは人それぞれですが、この三宅島が私たちの育った場所であり、まぎれもなく故郷であります。こうして成人式を迎えられたことは、島の人々の助けがあったからです。今日の感謝の気持ちと成人としての決意を忘れず、力強く、やさしく、たくましく、そして楽しく生きていきます。」と、力強い言葉を述べました。
次に杉山教育委員から新成人代表の野口萌さんに記念品が贈呈されました。今年も出席した新成人一人ひとりから自己紹介と抱負が述べられました。進路や就職の報告、将来の目標など個性豊かなメッセージとなりました。
会場には恩師からのお祝いの言葉などが掲示され、久しぶりの再会に笑顔で話をしたり、互いに写真を撮り合ったりと、和やかな成人式となりました。

平成29年三宅村成人式を挙行 新成人が感謝と決意を力強く語る

「平成29年三宅村成人式」が1月3日に三宅村文化会館にて挙行されました。参加した男性6人、女性8人、合計14人の新成人の皆さんはスーツや振り袖の身を包み晴れやかに大人の仲間入りをしました。

三宅島文化会発表会 2月11日(土)、12日(日)に開催

三宅島文化会が今年も発表会を開催します。書道・絵画・写真・手芸品や華道の展示のほか、茶道コーナーでは茶席を用意してお待ちしています。舞台では、合唱や演奏が披露され、11日(土)の夜には「音楽の夕べ」も予定されています。
▽日時 2月11日(土)午後1時~午後8時、12日(日)午前9時~午後4時

三宅島文化会が今年も発表会を開催します。書道・絵画・写真・手芸品や華道の展示のほか、茶道コーナーでは茶席を用意してお待ちしています。舞台では、合唱や演奏が披露され、11日(土)の夜には「音楽の夕べ」も予定されています。

平成29年三宅村消防団出初式表彰者名簿一覧

個人表彰	
消防庁長官永年勤続功労章 平成28年3月9日受章	
団本部	副団長 沖山 昇 三
日本消防協会定例表彰 平成28年3月8日受章	
精積章	
阿古分団	班 長 土屋 廣 之
勤続章	
伊豆分団	副分団長 池田 裕 次
東京都知事消防褒賞 平成28年10月27日受章	
神着分団	副分団長 浅 沼 実
伊豆分団	副分団長 池田 裕 次
東京都消防協会定例表彰 平成28年3月31日受章	
功労章	
神着分団	副分団長 浅 沼 実
優良章	
伊豆分団	部 長 池田 将 範
阿古分団	副分団長 松 下 隆 一
坪田分団	副分団長 勝 見 吉 信
平成29年村長表彰	
勤続章25年	
神着分団	部 長 村 上 康
阿古分団	部 長 長谷川 新 一



出初式

1月8日、新春恒例の中活一郎消防団課長、谷寿文議長や渡邊俊夫支庁長、諸石明警察署長、関係団体代表者の方々が出席しました。
式には、検閲官である櫻田昭正村長をはじめ、来賓として東京消防庁防災部田中 功績のあった団員表彰
式では、来賓祝辞や功績のあった団員への表彰が行われました。

三宅村消防団出初式を挙行 功績のあった団員表彰

▽会場 三宅村コミュニティセンター
問い合わせは三宅島文化会 ②12339 (穴原) となります。
三宅島GEO
ノルディック
ウォークツアー
参加者を募集中
2月25日(土)にノルディックウォークツアー(主催 三宅島観光協会)を開催します。ノルディックウォークは上半身も使った全身運動となるため、通常のウォーキングに比べて運動効果が高いのが特徴。
また、腕の力を使って歩

くため、坂などを楽に登ることができ、体力に自信の無い方でも安心してウォーキングを楽しむことができます。
当日は東京都ノルディックウォーク連盟の指導員によるノルディックポールの使い方の講習会も開催。ノルディックウォークが初めての方でも安心してご参加いただけます。
詳細は折り込みチラシをご覧ください。
▽開催日 2月25日(土)



▽申込締切 2月22日(木)
▽参加費 15,000円
▽申し込み・問い合わせ 三宅島観光協会窓口にてお申し込みください。 ☎ 1144

認定農業者になりませんか 国、都、村の支援を活用できます

認定新規就農者

効果的かつ安定的な農業の担い手に発展するため、新たに農業経営を営もうとする青年等を支援する制度です。対象者は三宅村の区域内において新たに農業経営を営もうとする青年等(農業を営むこととなる5年以内の青年等を含む。認定農業者を除く)で、次のいずれかに当てはまる方です。

- ①青年(原則18歳以上45歳未満)
- ②特定の知識・技能を有する中高年齢者(65歳未満)
- ③右記の者が役員(過半数を占める法人)。

認定農業者

創意工夫によって農業経営の改善を図ろうとする意欲のある農業者を支援するための制度です。5年後の経営目標とその達成に向けた方策を記載した青年等就業計画・農業経営改善計画の内容を村の基本構想に照らして村が認定し、認定を受けた者は国・都・村の支援を活用することができます。

青年等就業計画・農業経営改善計画の作成にあたり、個別相談会を開催しますので、希望される方は都合の良い時間帯を予約してください。

三宅村総合開発委員会開催 会長に浅沼徹哉氏を選任

平成28年度三宅村総合開発委員会が12月20日に開催



浅沼会長(左)に三宅村総合開発委員会会長を委嘱する様子

浅沼会長は、平成24年度(平成24年度策定)の10年事業実施計画の見直しについて審議されました。会長と副会長の選任があり、会長に浅沼徹哉氏、副会長に石井節美氏が選ばれ、あいさつがありました。その後、事務局より変更のあった事業や新規事業の説明が行われ、各

委員から質疑などが多数挙がりました。今回、新規事業としてみやげ保育園施設整備や防災行政無線管理、三宅村消防団員防火衣購入、笠地農業用水地下水調査、八重間ス

トックマメンテナンス事業、笠地・西原農業用水施設整備、阿古荷捌き施設新設工事、定置網新規設置事業などが追加されました。1月18日、浅沼会長より櫻田村長へ答申されました。

とになります。 ※一定の違反行為(18の基準行為)とは、信号無視、通行禁止違反、通行区分違反、進路変更禁止違反などです。

更新時の認知機能検査の結果により、高齢者講習の内容・時間が変わります。 ①75歳未満の方は高齢者2時間講習 ②75歳以上の方で認知機能検査結果が、「認知機能が低下しているおそれがある方(第2分類)」と「認知症のおそれがある方(第1分類)」は高齢者3時間講習となります。



島暮らしの魅力発信

みんなの「暮らし」

三宅村役場企画財政課長 吉田 稔彦

第5次三宅村総合計画の基本構想では、島の喫緊の課題、特に島内若年層および、I・U・J・ターン者の定住化を促進し、本村の定住人口減少に歯止めをかけるため、基本構想の基本理念、基本方針の①島に誇りと愛着をもつづくり、②島の文化を発信する生きが

推進などを基軸とした各主要施策を実施しておりますが、平成24年度から平成33年度までの10年間の実施計画の半ばとなる現在、人口減少に歯止めのかからない

地域おこし協力隊導入などを実施し、定住人口の増加に努めております。今後も事業の拡大、新たな事業を検討し、三宅島への新しい人の流れを作り、その方々

状況が続いています。村では昨年より、人口減少克服を目指した地方創生事業により、島暮らし体験事業、ふれあい交流事業、

に定住していただくことで人口減少に歯止めをかけていきたいと思っております。特に地域おこし協力隊の活動では、情報発信手段のフェイスブックを活用して島暮らし情報や移住者や島で働く方のインタビューなどの掲載を進めており、今後も三宅島の暮らしの魅力

をより一層PRしていきたいと考えておりますので、島内の求人情報や魅力ある情報などがございましたらぜひお知らせいただければと思います。

▽場所 東京都島しょ農業水産総合センター三宅事業所
▽申し込み 東京都島しょ農業水産総合センター ①1414
認定新規就農者・認定農業者申請
▽提出先 観光産業課 農水産係 ⑤0992
▽提出期限 2月28日(火)
問い合わせは観光産業課 農水産係 ⑤0992。

春のキャベツやダイコンで、収穫前に花が咲いてしまつことはありませんか。これは「トウ立ち(正式には「抽苔」と呼ばれる現象で、生長中に葉ではなく花芽がで、その花芽が発育してしまつたために発生します。トウ立ちすると、キャベツのような結球する野菜は丸まらなくなり、また、ダイコンなどの根菜類は花芽に栄養を取られてしまつたため根の成長が止まったり、「ス」が入って味が落ちたりします。

トウ立ちは、植物が温度や日の長さなどある一定の条件で過すことにより起委員から質疑などが多数挙がりました。

トウ立ちを防ぐには、トウ立ちにくい品種を使うことが重要です。冬に種をまく栽培では「トウ立ちし

り、春が近づくとこの季節に栽培する野菜では特に注意が必要です。 トウ立ちを防ぐには、トウ立ちにくい品種を使うことが重要です。冬に種をまく栽培では「トウ立ちし

このままです。植物によって条件は異なりますが、多くの野菜は低温が続くと花芽ができ、その後の高温かつ日が長い条件下で花芽が発育し開花します(春化とい

にくい)晩抽性などと書かれていて種をまきましよう。また、不織布や透明な被覆資材を使用し、「べたがけ」や「トンネル栽培」も効果的です。一定期間低温が続くと花芽ができますが、

トウ立ちしてしまつと元々の野菜は商品価値がなくなつてしまつますが、発育した花芽はバナナのように食べることができ

打ち消す効果があります。が、高温や多湿になりすぎないよう、定期的に換気をする必要があります。あらかじめ通気穴の開いた資材もあります。

トウ立ちしてしまつと元々の野菜は商品価値がなくなつてしまつますが、発育した花芽はバナナのように食べることができ

「トウ立ちの防ぎ方」 短時間であれば夜間低温にあたつても、日中高温にあたることでトウ立ちが打ち消されることがあります(脱春化といえます)。

トンネルは日中の最高気温を上げることで、春化を

合や、医師の診断書提出しない場合は、運転免許の取消しまたは停止となります。

更新時の認知機能検査の結果により、高齢者講習の内容・時間が変わります。 ①75歳未満の方は高齢者2時間講習 ②75歳以上の方で認知機能検査結果が、「認知機能が低下しているおそれがある方(第2分類)」と「認知症のおそれがある方(第1分類)」は高齢者3時間講習となります。

更新時の認知機能検査の結果により、高齢者講習の内容・時間が変わります。 ①75歳未満の方は高齢者2時間講習 ②75歳以上の方で認知機能検査結果が、「認知機能が低下しているおそれがある方(第2分類)」と「認知症のおそれがある方(第1分類)」は高齢者3時間講習となります。

雇用促進のため、普通自動車、中型自動車、大型自動車に加え、車輻総重量3.5t以上7.5t未満などの「準中型自動車」が新設され、これに対応する免許として18歳以上の者が取得できる「準中型免許」が新設されます。

※改正前の普通免許または改正免許を受けている方は、改正後も同じ範囲の自動車を運転することができ

問い合わせは警視庁運転免許本部 ③03-6717-3137(代表)。

人事異動(1月1日付) 【主事級】 村民生活課福祉係 有野千鶴。

【新規採用】 総務課防災危機管理係 関口祥太、村民生活課保健係 室矢菜乃花、村民生活課福祉係 村島雄也。

2月は後期高齢者医療保険料、保育料、固定資産税

【緊急連絡先】

平日夜間・休日の関庁時の連絡は三宅村役場臨時庁舎 ④04994⑤0981。

住民税の申告は3月15日(水)まで

住民税申告は、平成28年度の収入の有無などを居住する市区町村(平成29年1月1日現在)に届け出るもので、収入が全くない方も申告の必要があります。

申告方法は村のホームページを「ご覧になるか、企画財政課事務係までお問い合わせください。3月15日(水)までと同様に申告してください。

申告内容は国民健康保険税などの算定資料として使用します。申告がないと村営住宅や児童手当、医療費助成制度、保育園、公的年金などの申請ができません。

「思い通りにならないと激怒する」など、専門の心理相談員が相談に応じます。

「病院や歯医者へ怖がる」「思い通りにならないと激怒する」など、専門の心理相談員が相談に応じます。

こども心理発達相談のお知らせ

こどもの心理発達相談を行います。お子さんの発育・発達で心配なことがありますしたらご相談ください。

例えば、「言葉が遅い」「病院や歯医者へ怖がる」「思い通りにならないと激怒する」など、専門の心理相談員が相談に応じます。

▽対象者 1歳6カ月健診終了者から就学前までのお子さんとその保護者

▽実施日時 2月15日(水) ①午前9時②午前10時(40分程度)

▽場所 阿古福祉会館

▽申し込み期間 2月8日(水)まで

申し込み多数の場合は次の4月に調整させていただきます。申し込み・問い合わせは村民生活課保健係 ☎092-00016。

整形外科専門診療を実施

整形外科専門診療を中央診療所で行います。受付は、診療当日に行います。

受診者多数の場合同様に、整形外科専門診療を実施いたします。

※詳細についてはI-P告知欄をご覧ください。

問い合わせは中央診療所 ☎092-00016。

2月の生活カレンダー

8日(水)	特設登記所開設 (9:00~12:00、13:00~16:00) 【役場臨時庁舎】
9日(木)	特設登記所開設 (9:00~12:00) 【役場臨時庁舎】
14日(火)	乳幼児健康診査 【伊豆避難施設】
16日(木)	定期予防接種 DPT-1PV (14:30~14:40) 日本脳炎1期 (14:40~15:00) MR (15:00~15:20) 日本脳炎2期・DT2期 (15:20~15:40) 【中央診療所】
23日(木)	任意予防接種 (14:20~14:30) 定期予防接種 BCG (14:20~14:30) B型肝炎 (14:30~14:40) 小児用肺炎球菌、ヒブワクチン同時接種 (14:40~14:50) 水痘 (14:40~15:00) 【中央診療所】
28日(火)	後期高齢者医療保険料(第8期)、保育料(2月分)、固定資産税(第4期)の納期限

◆保健師による健康相談(毎週火・金曜日9:30~11:00、無料・予約不要) 【村民生活課】

- ・検診、予防接種、子育て相談、健康相談など 村民生活課 ☎0902
- ・村税……………企画財政課事務係 ☎0983
- ・特設登記所……………企画財政課企画情報係 ☎0984
- 東京法務局 不動産登記 ☎03-5213-1330
- 法人登記 ☎03-5213-1337

※相談の際は関係する資料をご持参ください。

ご存知ですか? 国民年金の任意加入制度

65歳から受けられる老齢基礎年金は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。

国民年金保険料の納め忘れなどにより、保険料の納付期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して保険料を納めることができます。

国民年金

付済期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して保険料を納めることができます。

03-5401-3211または村民生活課保健係 ☎0902。

平成29・30年度建設工事等入札参加資格審査申請を受付

平成29・30年度建設工事等競争入札参加資格審査の申請受付を次のとおり行います。

▽申請方法 三宅村ホームページで提示資料などの詳細を確認し、申請書様式をダウンロードして印刷の上、必要事項を記入し提出

▽受付期間 2月1日(水)~2月15日(水)

▽提出先 企画財政課財政係 ☎09088。

粗大ゴミなどは適正な処理を

三宅島内の収集場所に粗大ゴミなど回収できないゴミが捨てられています。

三宅村では粗大ゴミの回収は行っておりませんが、三宅村クリーンセンターまで直接持ち込みをお願いします。

家電四品目(テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機)、パソコンはリサイクルが義務付けられおり、三宅村では回収、引き取りをおこないません。家電四品目を回収するには、三宅村のHPに記載がございますのでこちらをご覧ください。



収集場所に捨てられた粗大ゴミ

災害対策への取り組みまとめ

昨年、災害対策への取り組みと題して、以下の4つの内容について、記載させていただきました。

その1では、災害医療の現場で、用いられる「All Hazard Model(オールハザードモデル)」という概念と「連絡カード」の作成について取り上げました。特に「連絡カード」については、有事の際に備えてどなたに連絡をするか、家族や親戚、困った時に連絡してもらいたい人の連絡先を記録し、準備しておくことについて述べました。

その2では、「トリアージ」という概念を取り上げました。「トリアージ」は、ナポレオン時代の戦陣医療から端を発し、傷病者を重症度に応じて分類し、重傷者から対応するというシステムのことでした。その3では、情報の集約と題して、いかに医療情報

中央診療所長 和田 陽之介

広報からのお知らせ

イベントなどの情報提供は、毎月10日ごろまでにメールまたはFAXで内容と連絡先を下記まで送付してください。掲載は紙面に余裕がある場合のみとなります。また、文体はご一任ください。

広報担当者(取材の際に腕章をしますので撮影にご協力ください)。

三宅村では村民の皆さんの意見・感想・要望などをお待ちしています。

問い合わせは企画財政課企画情報係 ☎0984、FAX ☎0932、E-mail:ake@miyakeura.com

← 航空機の運航状況 (H28.12.1~12.31)

	就航率	搭乗率
調布 → 三宅	95.7%	38.6%
三宅 → 調布		75.9%

【問い合わせ】
新中央航空機三宅島空港 ☎04994-6-0006

餅つき大会開催

三宅島警察署

12月23日、三宅島警察署で恒例の餅つき大会が行われ、警察署に餅をつく音と参加者の歓声が響きました。署員の手で蒸されたもち米が運ばれた後、子どもたちが来賓や署員とそとの家族、参加住民らと一緒に、次々と餅をつきあげました。



白と杵を使った本格的な餅つき

つきたての熱い餅は参加した人たちの口をおいしく満たし、充実した楽しいひとときとなりました。

盛大に「船祝い」 豊漁と安全祈願

新年の豊漁と安全を「船霊様」(ふなたまさま)に祈願する「船祝い」が1月2日に大久保、湯の浜、坪田、阿古の各漁港で盛大に行われました。当日は晴天に恵まれ、船主たちが勢よくミカンやおひねりなどをまき始めると、訪れた人たちは押し寄せ、手を伸ばしてまかれた物を取る人たちがあふりました。



手を伸ばしてまかれた物を取る人たち

三宅島柔剣道連盟 新春の鏡開き開催

1月9日に新春恒例となった三宅島柔剣道連盟と三宅島剣道連盟合同の「平成29年三宅島柔剣道連盟鏡開き」が開催されました。開会式前には子どもたちや保護者、指導員らによって餅つきが行われ、つきたての餅が来賓らに振舞われました。また、会場内では昨年の活動報告をまとめた映像集が披露され、子どもたちの活躍が紹介されました。

柔道は主に紅白戦、剣道は親子試合などが行われ、



写真に納まる柔剣道のメンバー

子どもたちは大勢の観客の前で少し緊張しながらも新春に相応しい熱気溢れる試合が繰り広げられました。



教育委員会 便り

2月の小・中学校予定

- 【小学校】
 - 1日(水) 村民の日
 - 3日(金) 三宅村教育研究発表会
 - 16日(水) 中学校体験入学(小6)
 - 18日(金) 学校公開
 - 1日(水) 村民の日
 - 3日(金) 三宅村教育研究発表会
 - 7日(水) 11日(日) みななかみ
- 【中学校】
 - 1日(水) 村民の日
 - 3日(金) 三宅村教育研究発表会
 - 7日(水) 11日(日) みななかみ

体験学習(中2)

- 8日(水) 職場訪問(中1)
- 13日(月) 17日(金) 中学校公開
- 27日(月) 3月1日(水) 学年末考査
- 問い合わせは三宅村教育委員会 ☎09952。

【直木賞】

「蜜蜂と遠雷」 恩田陸著・幻冬舎

【直木賞候補作品】

- 「十二人の死にたい子どもたち」 沖方丁著・文藝春秋
- 「室町無頼」 垣根涼介著・新潮社
- 「また、桜の国で」 須賀しのぶ著・祥伝社
- 「夜行」 森貝登良著・小学館

【新着本の紹介】 図書館には毎月新しい本が配架されています。今回紹介する本は、1月19日に発表された第156回芥川賞・直木賞の受賞作です。

【芥川賞】 「しんせかい」 山下澄人著・新潮社

【直木賞候補作品】 「十二人の死にたい子どもたち」 沖方丁著・文藝春秋

アカコッコ館 no.59

「自然情報満載!」 『ミヤケンシス』 現在、アカコッコ館では年度報告書『ミヤケンシス』の最新19号IIカットIIを無料配布しています。ミヤケンシスは年に1回発行している冊子で、レンジャーや研究者、自然ガイドによる三宅島の生きもの調査の報告やアカコッコ館のイベント報告などを掲載しています。

例えは、大沼池や長太郎池などで毎月実施している野鳥や海水魚の調査や今までに島で確認された270種以上の野鳥の紹介、長太郎池や土方海岸の潮だまりで記録のある

る海水魚、ウミガメの産卵調査の報告、島内の植物の開花時期や昆虫の出現時期など、ほかにもさまざまな三宅島の自然情報を紹介しています。

さらにバックナンバーでは、島のお年寄りから教わった昔の三宅島の生活、故ジャック・T・モイヤー先生の思い出をまとめた号もあります。もちろんバックナンバーも無料で配布しています。興味を持たれた方はお問合せください。

Miyakensis
三宅島自然ふれあいセンター研究報告 Vol.19
平成27年度集巻報告

3月11日(土)に三宅島自然ふれあい大使の2代目「江戸家小猫」さんにも参加いただき、楽しいお話を交えながらアカコッコ調査の報告会やアカコッコ保護を考える会を開きます。また、翌12日(日)にはアカコッコの好む森づくり作業を行います。詳細は次号をご覧ください。

☎0410、FAX0458、ホームページの「アカコッコからの手紙」で検索。

ディスカバー 三宅島
現代いきを知り 未来を考える

三宅島郷土資料館では、ふるさと三宅島をもう一度見直し、その魅力を再発見するディスカバー三宅島事業としてさまざまなプログラムを進めています。その一つに、郷土資料の公開・保存作業があります。

これは、神奈川県常民文化研究所と連携して、郷土資料館の収蔵品を一つ一つ写真に撮り、分類整理するとういう、大変時間のかかる地味な作業です。常民文化研究所の研究者と資料保存の専門家とともに、毎年神奈川県から30人程度の学生さんが参加して行っています。郷土資料の保存は、古文書や民具などの「もの」



収蔵品の分類整理作業

だけではありません。三宅島のお年寄りからお話を聞き、それを整理してまとめて「オールヒストリー」という形にしています。その時代を生きてきた方々の「体験」が語られるとき、昭和40年代の離島ブームもつぎの時代の、昭和20年代から30年代の三宅島の生活と暮らしが、鮮やかによみがえって来ます。三宅島郷土資料館では、郷土資料を単に「蒐集し、

三宅島火山ガス濃度情報サービス

- ① ☎04994-6-0565
- ② IP告知端末(テレビ電話)
- ③ 携帯サイト

http://www.miyake-so2.jp/keitai/

各観測点での火山ガス濃度の年平均値やレベルごとの月平均時間などはIP告知端末で配信。火山ガス濃度の年平均値の推移は村のホームページに掲載。

「陳列」して過去を懐かしみ、先人たちの遺産に感心するだけでなく、貴重な資料を一つ一つ丁寧に「整理」「分類」して公開していくことにより、現在のわたしたちの暮らしを知り、ふるさと三宅島の将来を考える手掛かりとなることを目指しています。

詳細などの問い合わせは三宅村教育委員会社会教育係 ☎09952。

※「ディスカバー三宅島」は不定期で掲載します。

みやけの宝

おきやま あいり ちゃん
沖山 愛莉 ちゃん

誕生日：平成28年 3月4日(伊ヶ谷)

。。。メッセージ。。。

笑顔をいっぱいありがとう!
たくさん遊んで、のびのびすくすく成長していきますように☆

【申込方法】 写真(データ)・名前(ふりがな付)・性別・生年月日・保護者からのメッセージに、保護者氏名と連絡先を添えて企画財政課へ持参、またはメール(件名:みやけの宝)をmiyak03@miyakemura.comへ送信。

【対象】 2歳未満 ※写真は返却できません。